

ロイロノートの共有ノートを活用した要約活動の工夫
(NEW HORIZON English Course 3 Let's Read 1 A Mother's Lullaby)

- ①読む ②協・整 ③タブ ③TV ④ロイロノート

【ここがポイント！】

①「ロイロノートの共有ノートを活用した要約活動」

生徒が文章を読んで、概要を捉えることができるよう、リーディングの単元において、要約活動を行う。その際、ロイロノートの共有ノートを活用し、グループのメンバーと協働しながら、キーワードやキーセンテンスをシンキングツールに整理・分類し、要約文を完成させる。その後、要約文を全体で共有することで、各グループの表現の工夫などの良さや改善点を共有することができ、個人の表現の幅を広げることにつながる。

②「音声入力機能を活用した音読の充実」

タブレットの音声入力機能を活用し、相手に分かりやすい要約文になっているか、また、作成した要約文を正確に読むことができているかを確認する。

【実践の目標】

教科書本文を読んで、必要な情報を精選し、要約することができる。

【実際の場面】

1. 学習課題の設定

「生徒の家にホームステイにやってきた外国人小学生に、本の内容について質問された。」という場面設定をし、本文の内容を要約し、分かりやすく伝えるという課題を設定した。

2. キーワードやキーセンテンスの確認

ロイロノートの付箋機能を活用し、各段落のキーワードやキーセンテンスを考え、個人でシンキングツールにまとめた。



3. グループで段落ごとに整理・分類する

ロイロノートの共有ノート機能を活用し、各自で考えたキーワードやキーセンテンスをグループで話し合いながら、シンキングツールに整理・分類した。

4. 本文の要約

シンキングツールにまとめたキーワードやキーセンテンスを別のシートに要約としてまとめた。その際、接続詞やパラフレースを効果的に使う等、工夫した語句や文などを文字の色を変えて表現した。

5. 全体での共有

各グループの要約文を大型テレビに映し、比較した。また、接続詞やパラフレースの使用など、表現を工夫できているかについて確認し、良さや改善点を共有した。

6. 音読練習

外国人小学生に分かりやすく物語の内容を伝えるために、発音の正確さやリエゾン、間の取り方等を考えながら、要約文を正しく読むことができているかどうか、タブレットの音声入力機能を活用し、確認した。

【成果と課題】

【成果】

○ロイロノートの共有ノート機能を活用することで、グループ全員が同時に作業することができ、各自で考えたことを話し合いながら、まとめることができた。また、グループ内で協議した内容を別のシートに速やかに反映させることもできた。さらに、各グループの要約文を一覧にして表示できるため、効率的に比較することもできた。

○音声入力機能を活用することで、発音の正確さやリエゾンへの意識が高まり、相手に伝わるように表現しようとする生徒が増えた。

【課題】

○紙にまとめる活動に比べ、ロイロノートは付箋を修正したり消したりすることができる反面、生徒が考えた要約文の修正過程が記録として残らず、語句や文法等の誤りを共有し、指導に生かす機会が少なかった。

